

気仙圏域県立病院運営協議会議事録

日時：平成 29 年 1 月 23 日（月） 15：00～17：00

場所：岩手県立大船渡病院 3階大会議室

1 開会（大浦事務局次長）

只今から、平成 28 年度気仙地域県立病院運営協議会を開催いたします。議事に入るまでの間、お手元の次第に従いまして、進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

本日、追加資料として、各病院からの現況報告のパワーポイントの資料 3 点と、大船渡病院広報紙「けせん絆」の冊子を用意しております。配付漏れなどがございましたら、お申し出くださるようお願いいたします。

2 委員紹介（大浦事務局次長）

はじめに、本日ご出席いただきました委員の皆様を、お手元の座席表に従いましてご紹介いたします。なお、今年度は県立病院運営協議会要綱第 4 条により、委員の任期満了に伴い、新たに委員を 25 名委嘱したところでございます。

それでは、出席の委員の皆様を議長席に向かって右から順にご紹介いたします。

- ① 大船渡市長 戸田 公明 様です。
- ② 陸前高田市長 戸羽 太 様です。本日は長谷部様に代理で出席いただいております。
- ③ 住田町長 多田 欣一 様です。
- ④ 沿岸広域振興局 副局長 菊地 一彦 様です。
- ⑤ 大船渡保健所長 久保 慶祐 様です。本日は佐藤様に代理で出席いただいております。
- ⑥ 大船渡市社会福祉協議会 総務課主任 石橋 厚子 様です。
- ⑦ 住田町社会福祉協議会 主任福祉活動専門員 菊池 和子 様です。
- ⑧ 大船渡市地域婦人団体連絡協議会 小松 由美 様です。
- ⑨ 住田町婦人団体連絡協議会 多田 まり子 様です。
- ⑩ 陸前高田商工会 鈴木 大貴 様です。
- ⑪ 陸前高田市コミュニティー推進協議会連合会長 村上 誠治 様です。

続きまして、議長席に向かって左側の委員の皆様を順にご紹介いたします。

- ⑫ 岩手県議会議員 田村 誠 様です。
- ⑬ 岩手現議会議員 佐々木 茂光 様です。
- ⑭ 気仙歯科医師会長 横澤 茂樹 様です。
- ⑮ 気仙薬剤師会長 大坂 敏夫 様です。本日は所要により欠席となっております。
- ⑯ 大船渡市国民健康保健運営協議会長 村上 守克 様です。

- ⑰ 住田町国民健康保健運営協議会 委員 吉田 次男 様です。
- ⑱ 陸前高田市社会福祉協議会 主任 山本 潤也 様です。
- ⑲ 大船渡市農業協同組合指定通所介護事業所立根施設長 金野 寿江 様です。
- ⑳ 陸前高田市地域女性団体協議会副会長 齋藤 百合子 様です。
- 21 大船渡市商工会議所 経営指導部主事 久池井 のぞみ 様です。
- 22 大船渡地区公民館連絡協議会長 金野 哲夫 様です。
- 23 住田町自治公民館連絡協議会長 高橋 靖 様です。

本日は、委員 22 名のご出席です。

3 職員紹介（大浦事務局次長）

次に医療局及び病院職員をご紹介します。

はじめに、医療局職員をご紹介します。

- ① 八重樫医療局長です。
- ② 三田地医事企画課総括課長です。
続きまして、病院職員をご紹介します。
- ③ 伊藤大船渡病院長です。
- ④ 田畑高田病院長です。
- ⑤ 浏向大船渡病院統括副院長兼住田地域診療センター長です。
- ⑥ 小笠原大船渡病院副院長です。
- ⑦ 中野大船渡病院副院長です。
- ⑧ 佐々木大船渡病院事務局長です。
- ⑨ 千田高田病院事務局長です。
- ⑩ 廣田大船渡病院総看護師長です。
- ⑪ 熊谷高田病院総看護師長です。
- ⑫ 太田大船渡病院医事経営課長です。
- ⑬ 及川大船渡病院総務課長です。

そして、私、大船渡病院事務局次長の大浦です。よろしく願いいたします。

4 会長・副会長選任

（大浦事務局次長）

次に、会長・副会長の選任でございますが、会長・副会長は、県立病院運営協議会等要綱第5条第1項によりまして、委員皆様の互選によることとなっております。

会長・副会長の互選の方法につきまして、委員のご意見をお伺いします。ご意見のある方は挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。

（田村県議）

事務局に一任します。

(大浦事務局次長)

事務局一任とのお声をいただきましたので、委員の皆様にお諮りいたします。事務局一任としてよろしいでしょうか。

(※異議なし)

それでは事務局より、県立病院運営協議会要綱の第5条第1項により、会長及び副会長をそれぞれ各1名をご提案させていただきます。

会長には戸田大船渡市長を、副会長には戸羽陸前高田市長を、案とさせていただきます。

(※異議なし)

(大浦事務局次長)

異議なしとのことですので、皆様、お諮りいたします。案のとおり決定してよろしいでしょうか。皆様の拍手でご承認をお願いいたします。

(※拍手)

(大浦事務局次長)

それでは、ただいま会長に選出されました戸田会長様よりご挨拶をいただきます。よろしくをお願いいたします。

5 会長あいさつ (戸田委員)

ただいま本協議会の会長を仰せつかりました大船渡市長の戸田です。皆様におかれましては大変お忙しいなかご参会いただきましてありがとうございます。

また、本日の会議に岩手県医療局からご臨席いただいております八重樫医療局長様におかれましては、常日頃から気仙圏域の病院運営等にご高配賜り御礼申し上げます。

また、伊藤病院長、田畑病院長、洩向住田地域診療センター長はじめ病院スタッフの皆様には気仙地域の医療の中核として日夜ご尽力いただいておりますことに深く敬意を表し、御礼申し上げます。

大船渡市においては、昨年10月以降、国保診療所医師が退職し、現在、大船渡病院、高田病院等から応援いただきながら運営しております。同じように、陸前高田市においても同様の状況となっています。住田町においては、個人病院の閉院もあり地域の医療環境は大変厳しい状況下におかれています。そうしたなか地域医療を守るために時間を捻出いただき、応援医師を派遣いただいている両県立病院、調整や医師募集にご協力いただいた県医療局に御礼申し上げます。

行政としても引き続き地域医療の充実に努めていく所存ですが市民の皆様方にも健康増進やかかりつけ医の活用、適正受診など、医療機能の維持に対する一層のご理解とご協力をお願いするものです。本日は、気仙圏域の県立病院の運営等において皆様方からご意見やご提案をいただく協議会ですので、気仙医療の一層の充実のためにご忌憚のない意見をお聞かせいただきますよう重ねてお願いし開催の挨拶とします。

6 岩手県立大船渡病院長あいさつ（伊藤大船渡病院長）

皆さん、足元の悪いなか、お忙しいなかいらっしやっただきありがとうございます。また、日頃より、当院に対して、高田病院、診療センターに関しても支援とご協力をいただき心より感謝いたします。

私ども県立病院群としては、地域医療構想という岩手県の大きなプランが昨年示されたところです。そのなか我々も改革を積み重ね、10年度の高齢化社会をどうにか乗り切っていこうかと計画しているところです。それと相まって、当院の改修が今年からスタートし、高田病院の建設が始まったと、そのような地域医療構想をふまえたかたちで建築工事が開始されたところです。

一方では、今年度の春には診療報酬の改定があり、我々にあっては大きな打撃です。来年は、医療と介護の同時改定あり、これが介護の皆さんにとっても我々にとってもかなり厳しいところがあります。これは消費税が上がらなかったことにより社会保障費の原資の担保ができず抑制されるであろうと思われるものです。ところが、抗がん剤などの新薬も出てきており医療費もかさむであろうとも思われます。我々の経営自体も非常に難しいところですが県立病院としては気仙地域に医療介護のネットワークをつくりたいというのが本心ですので、今日は皆様からのご意見を聞きたいと思っておりますので宜しくお願いします。

7 医療局長あいさつ（八重樫医療局長）

運営協議会委員の皆様におかれましては、日頃から県立病院等事業に対しまして、ご支援ご協力を賜っております。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

気仙地域におきましては、高田病院が昨年10月に工事着手しており平成29年度中の開院に向けて陸前高田市と連携をとりながら準備を進めていきたいと考えているところです。医療局では少子高齢化による医療需要等の変化に的確に対応していくために医療現場をしっかり支え、地域における医療体制の整備に努めて参る考えであります。

本日の協議会で委員の皆様から頂戴するご意見ご提言を今後の県立病院運営の参考にさせていただきますと思っておりますのでよろしくお願い致します。

8 議事

- (1) 気仙地域県立病院群の運営状況について（事務局説明：佐々木大船渡病院事務局長）
- (2) 各病院の現況報告について
 - ① 田畑高田病院長説明
 - ② 伊藤大船渡病院長説明
 - ③ 廣田大船渡病院総看護師長説明

※資料に基づき上記順に説明

- (3) 質疑応答

戸田議長

皆様から資料に基づき説明がありました。皆様からご質問ご提言等がありましたら発言をお願いします。

佐々木委員

日頃、お医者様方含めて一生懸命やっただいただいているのがわかりました。医者は勿論少ないが看護師も不足しています。現場から退職する方がいることを改めて聞いたが、環境が整っていないことが看護師に無理をさせているという解釈でよいのか。気仙地区だけでないと思うし岩手県下ではどうなっているのか、医療局の対応をお話いただければと思います。

八重樫医療局長

看護職員は医療局としても経営計画のなかでも増員計画をつくり、5年間、平成26年度から30年度までのなかで100人以上の増員計画を実施しています。

現在は前倒しで実施しており実績として138名増員をしているところですが、一つは被災した大槌・山田病院が再建したので増員、急性期病院のところでなかなか夜勤をやれる看護師が少なくなっているためのカバー、産休育休で休んでいる職員のカバーになっています。以前は臨時職員でカバーしていましたが今は看護師が全国的に不足し岩手県は確保できず、試験で職員を採用して埋めようとしています。首都圏に新卒学生が行くので更なる医療の質確保まで手が回っていない状況で医療局としても看護師確保対策委員会で検討しています。伊藤院長からも話がありましたが、看護師の勤務環境を充実し、満足度を上げる対応をしているところです。

横沢委員

住田地域診療センターが無床化になり現在は外来のみの診療だが、町民は今でもベッドの復活を望んでいるので宜しく願います。今は開業医もいなくなり午後に診てもらうところが無い。町民も午後に診察して欲しいと望んでいるがどうか。

瀧向統括副院長兼住田地域診療センター長

センターとしても問題意識をもっていますが、開業医が一つ無くなりセンターを訪れる患者数が平均10名25%増え、訪問診療もしているので来年度に向けて解決できればと考えているのでお時間をいただきたい。

村上委員

住田から来る救急車が来ない日は無い。住田に救急対応する医師を常駐できないか。

伊藤院長

救急業務に関しては医師一人で対応できるものでもない。心筋梗塞などは早く来た方が
良い。2次救急などは技師等も揃っているところで対応可能となるので今時点では難しい
のではないかと思う。そうできれば我々も助かるのですが。

吉田委員

患者数が減っているということで収支も減。新しい患者には紹介状が必要だと聞いたが、
新しい患者数の現状はどうか。また私は住田だが、かかりつけの医者が少ない。病気によ
っては違うと思うが大きい病院に行くときは紹介状も無く行くと思うがその辺はどうか。

伊藤院長

大前提として救急は別です。紹介状が無いと診ないということではなく内科系Drが少
ないため開業医の先生に診てもらって他の医療が必要であれば来てくださいということ
です。インフルエンザなどやることが一緒であれば開業医の先生のところで対応いただき、
検査や入院などにマンパワーをつぎ込みたい。病院というところは外来が勝負ではなく入
院がメインにならなくてはいけないと私は思っています。住田の方々が開業医の先生が一
人しかいないという現状がありますので、住田診療センターを利用していただくか大船渡
市の開業医の先生を利用していただくのがいいのではないのでしょうか。ただ、急患に関し
ては別です。

田畑院長

高田病院は受け入れます。病院によって機能が違うと思う。急性期病院では外来はでき
れば少なくして、高田病院は開業医さんも少ないので外来に来てもらってかまわない。来
てください。

山本委員

救急車で来て帰宅する病状の方が多いが、昼間はよいが夜間だとどのようにして帰った
らよいかわからないという言葉をよく聞く。収支の状況をみてもそのような予算確保は難
しいと思うが、そのような方が居られるスペースや温かいなかゆったり朝まで待ってい
られる環境や送迎できる仕組み、そういったものを考えてもらえないか。

また、入院時のセキュリティについて、先日お見舞いに行ったがナースステーションで
何も言われなくて入れたが自分の身内としては大丈夫かなあと思うところもあり、お見舞
いに来られる方へもアプローチもあっていいと思うがお伺いしたい。

伊藤院長

一つ目に関しては、病院だけで対応できることではないでしょう。これは福祉の問題で

もあるし病院で送迎バスを出すのもちょっと違うという感じがします。実際に住田の人でも同様のことが起きています。タクシーも無いしどうしようかと。我々だと治療の対象でもないし純粋に医療者側の立場からいえばどうしようかと。行政と福祉と我々との関係のところで考えなければならない。外来で待つとなれば患者さんなので看護師1名をつけなければならないし、入院となればドクターが付き、社会的適応の入院となります。病院としても非常に難しい。ご批判もいただくが我々も悩んでいるところです。雪が降ったからなど足がないから救急車を使う人もいます。そういう実情もあるので、ここは、病院だけで対応できる問題ではないので皆さんと一緒に考えていかなければなりません。

廣田総看護師長

セキュリティに関しては、当院は今、セキュリティに関していろいろなことがあったので入り口を絞っていかうとか、入院患者さんのチェック機能であるとか色々なことを検討し始めているところですので、決まった時点でこういったかたちというものをお示しできるかもしれない。

戸田議長

高齢化率が進むなか、皆で助け合える支えあう地域づくりをしていく地域包括ケアの考え方で、我々でやっていくことになるでしょう。

金野委員

患者満足度について、デイサービスで80歳過ぎの患者から退院してきてからの声で看護師が怖かったなどの話を聞きます。気持ちが弱くなっているので気を遣った言葉がけをしてほしい。

入院するとすぐに高齢者はすぐに介護保険申請するように言われるようですが、高齢世帯では申請方法などがよくわからないようなので、介護保険の勉強会も浸透してもらいたい。

廣田総看護師長

貴重なご意見をありがとうございます。
自分の身内が入院するなら大船渡というようにしていきたい。今後はいろいろな教育をしていて少しずつ改善していきたいと。次年度に向けては退院専任の看護師を病棟に配置したいとも考えています。現場で説明を具体的にできるような体制を考えていきたいと思えます。

戸羽委員（代理：長谷部）

日頃から医療行政支援に御礼申し上げます。高田病院は高台に造成工事し岩手県に土地

を引き渡し、岩手県で工事が進められています。

広田診療所は昨年末で常勤医不在になり大船渡と高田病院から応援診療をいただいて運営しており、高田病院には患者輸送による診療への対応を含めて感謝申し上げたい。医師確保ということで難しいと思うが引き続きご助言ご支援賜りたいということで改めてお願いしたい。

多田委員

医師不足もあるが看護師不足が切迫した問題だと思います。県と市町村で養成した医師1期生が出てくると思うが、同じように看護師を育てる学校がだいぶ元気が無くなってきていると思う。大船渡も昔は准看護師学校がありました。できれば医師養成と同様に県と市町村が一緒になって看護師や理学療法士などを育てる方法を考えていかなければならないと思っています。提案です。

菊地委員

気仙地域を卒業する高校生に、将来戻って、あるいは高校を終わっての就職についてアンケートをとると圧倒的に医療福祉希望の学生が多い。県としても関係機関と一緒に子育て子供達の夢が実現できるようにしていきたい。

戸田議長

未来かなえネットは気仙2市1町が取り組んでいる環境未来都市構想の柱。高齢化社会に対応した街づくりに対応したものであるが参加住民は1割の7,000人以上、関係機関は60機関を超えました。県の地域医療再生基金等からの補助をいただいてやってこれたということで感謝申し上げます。ランニングコストは、市町村と利用料の収入で継続的にやっていこうというもの。このシステムは情報共有がなされているのもで、基幹的な県立病院で使用していけば効果が出てくると思います。運用面でも現場で使いやすいシステムに改善していく必要があると感じています。具体的には2つ。隣接する圏域との接続について、遠野市の患者の行き来があり、連携の必要性が高いと思われます。現在、遠野市と遠野病院とも未来かなえネットの拡充を未来かなえネットの理事会を通じて協議していますが、医療局の方向性として遠野と気仙が繋がるのが望ましいというスタンスで遠野病院の後方支援というかたちで支援していただければ有難いと、未来かなえネットで話をしているところです。

もう一つは、県立病院での運用面での配慮です。現場の話を聞くと、従来病院で使用してきた端末と未来かなえ機構の端末を其々開かないといけないということが手間になっているようです。自動的にインターフェースされるシステムまでいっていない。細かいことだが、日々使う方々の身になればシンプルにして負担感を少なくしていくということだと思う。現在、未来かなえ機構より医療局に対して運用面でいくつか提案しているところで

システムの安全管理のこともあると思うが、未来かなえネットは、安全性には十分配慮して構築しているので、現場職員の負担感を少しでも排除できるように配慮願いたい。遠野圏域と使用する方々の利便性向上を。

旧三陸町の診療所医師不在となり、市としても医師を確保し辛く、大船渡市としても市出身医師のリストを作っている。万が一のことがあればリストをもとに考えられないかと検討を進めている段階にあります。

八重樫医療局長

招聘医師は、医療局としても県医師支援推進室があり県立病院だけでなく市町村医師についても一緒に招聘活動をしたり情報提供したりしています。山田病院などの例でも山田町から地元出身医師やどこの大学に関係者がいるかなどの名簿をもらって一緒に出向いて当直の依頼をした例もあるので、今、市長からのお話いただいた情報をいただきながら一緒に招聘活動にあたっていきたいと思っているので宜しくお願いします。

三田地医事企画課総括課長

システムの関係は、使い勝手を良くする趣旨としてネットワークの垣根を低くするという要望をいただいて電子カルテを運営している事業者と調整していますが、最後の最後はセキュリティのところの問題になるので、直ちに希望にそえるかははっきりしませんが、どういったかたちならできるとか現実的なアドバイスはさせていただきたい。

隣接する遠野市との連携ですが、圏域をがっちり固定せず実際に交流がある区域を入れるというのが現実的だと思うので、まずは関係者の間で連携していただいて、アドバイスはこちらからもさせていただきます。

以上をもって議事の一切を終了。

9 閉会